

参考様式第29及び参考様式第32の別添3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 17 - 13 - 26
要綱上の事業名称	(25) 市街地復興関連小規模施設整備事業
細要素事業名	防犯灯整備事業（復興分）
全体事業費	10,716千円

【事業概要】

東日本大震災の影響により、甚大な被害を受けた津波被災地区において、現在進められている土地区画整理事業地内では新たな住宅団地が形成されることから、夜間における犯罪の防止と通行の安全を図る観点から、地元自治会等からの申請により、防犯灯の設置補助を行い、もって、市民が安全に安心して暮らせるまちづくりを推進するもの。

【整備内容】

LED防犯灯（10VA）

対象地区		H29	H30	H31	合計
平	薄磯	29	29	10	68
	豊間	41	41	6	88
勿来	小浜	7	7	2	16
	岩間	7	7	7	21
久之浜・大久	久之浜	34	34	21	89
合計		118	118	46	282

【事業期間】

平成29年度～平成31年度まで

【事業費】「H29年度事業費 4,484千円」

(単位:千円)

項目	事業費		
	H29	H30	H31
金額	4,484	4,484	1,748
合計	10,716		

事業費は、38,000円(≒37,800円)/灯で算定。
(平成29年6月単価で設計)

H29事業費=38,000円/灯×118灯
=4,484千円

【基幹事業との関連性】

被災地域の住民が安全で安心な生活を送るためには、震災復興土地区画整理事業による生活基盤の整備に合わせ、生活環境の整備が必要であり、行政区からの申請に応じて、防犯灯の設置に係る補助事業を実施することで、夜間における犯罪の防止と通行の安全を図り、復興事業を充実させる。

※この様式は、原則として、参考様式第29及び参考様式第32の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※「全体事業費」は、細要素事業（当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。）について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。

※細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

参考様式第29及び参考様式第32の別添3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 17 - 13 - 27
要綱上の事業名称	(42) 観光交流・物産交流センター整備事業
細要素事業名	交流多目的広場駐車場整備事業（薄磯）
全体事業費	57,491（千円）
【事業概要】 <p>当該地区周辺（薄磯、豊間地区）は、風光明媚な景勝地であり、塩屋埼灯台や美空ひばりを偲ぶスポットが存在する、震災前には年間40万人を超える観光客が訪れる本市の主要な観光拠点の一つであったが、震災後は根強い風評被害や海岸部の工事により海水浴場の開設が困難となっていることなどの理由から、当該地区における観光客の入込数は1割程度にまで落ち込んでいる。</p> <p>こういった状況の中、震災復興土地区画整理事業が完了し、住民が帰還しても過去の賑わいと活力を取り戻すことは困難であり、更には一旦戻った若者の流出を招くことにもつながりかねない。</p> <p>震災前の活気に満ちた薄磯地区を取り戻すためには、以前のように当地を訪れる観光客や平成29年度の再開を予定している海水浴場に訪れる海水浴客で賑わうような街の再生が必要であり、訪れた観光客の利便性を高める周辺環境の整備の一環として、津波被害により取壊しを余儀なくされた従前の駐車場機能（公共施設等の駐車場）の不足分を補う新たな公共駐車場を整備するもの。</p> <p>（整備内訳）</p> <ul style="list-style-type: none">・整備概要 地元住民と観光客や海水浴客が集う場において交流する際に不足する公共駐車場の整備・整備予定面積 $A \approx 6,971\text{m}^2$ 【事業期間】 <ul style="list-style-type: none">・平成29年度～平成30年度<ul style="list-style-type: none">H29.12 測量・設計委託契約H30.1～6 測量、基本・実施設計H30.7～9 専門業者選定・工事委託契約H30.10～H31.3 駐車場整備工事 【事業費】 平成29年度事業費 1,400千円（測量・設計委託分） <p>○公共駐車場整備事業費 57,491千円（測量・設計委託 1,400千円、概算工事費 56,091千円） ※今回整備台数150台＋既整備台数200台＝計350台 震災前駐車場台数1,250台×既開設海水浴場入込客数回復率30%＝駐車場必要台数375台\approx350台</p> 【基幹事業との関連性】 <p>薄磯市街地復興土地区画整理事業に密接に関連する効果促進事業を連携して行うことにより、地区全体の復興に相乗効果を加え、事業の早期完了及び被災地の早期再建に寄与する。</p> 【整備効果】 <p>薄磯地区については、震災前263,000人の入込客数を誇った東北随一の薄磯海水浴場の再開を目指しており、地元住民と当地を訪れる観光客や海水浴客との交流が促進され、当該地区に震災前の賑わいと活力を取り戻すことができる。</p> <p>また、地元住民の憩いの場として集う空間であり、地区外に避難している被災者の帰還や定住促進も図られる。</p>	

※この様式は、原則として、参考様式第29及び参考様式第32の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。